

未来につなごう美しいふるさとの浜

# 天橋立

あまのはしだて



✿ 京都府

# 天橋立は今どうなっているの？

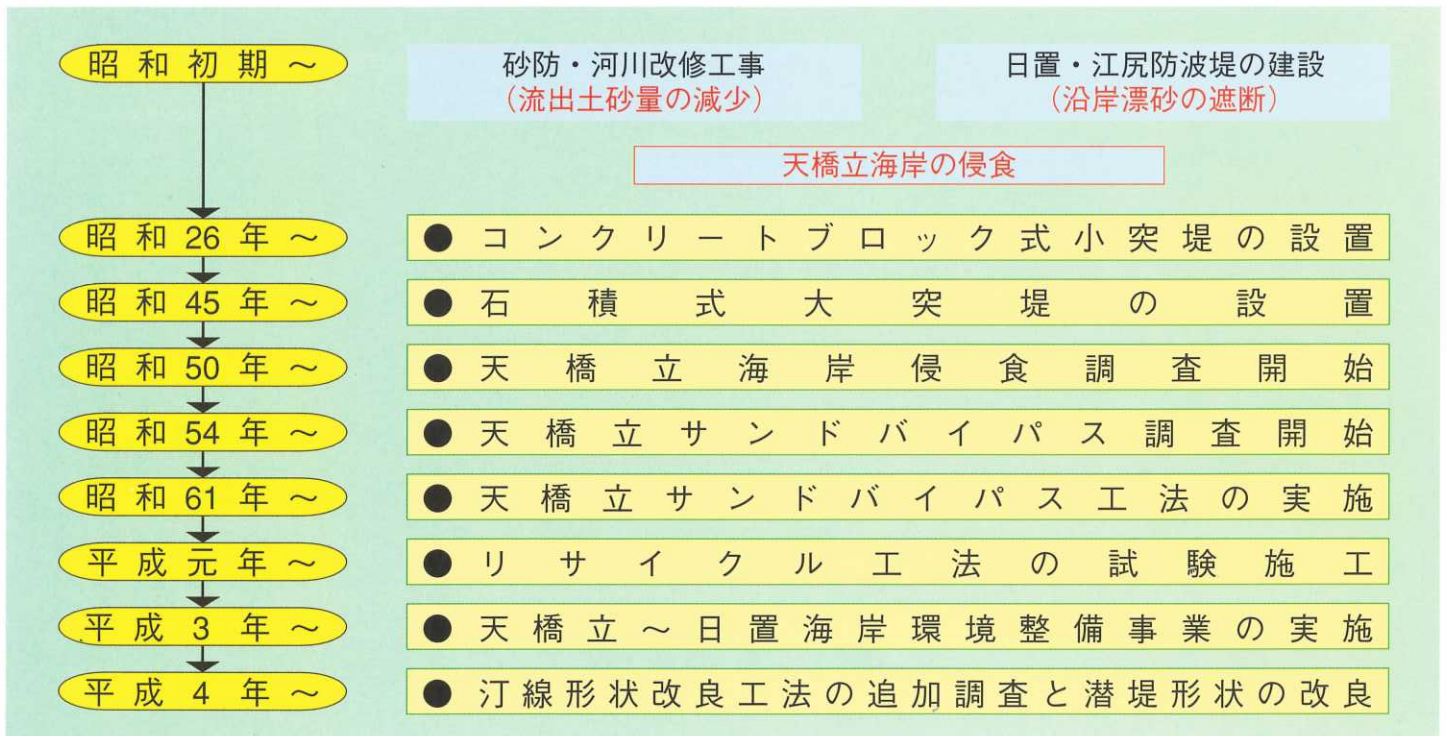
特別名勝「天橋立」。古来より、その時どきの人々の歌に詠まれ語りつがれてきました。松島、宮島と並ぶ日本三景の一つとして、全国数多い名所、旧跡の中でも特に美しい景観を見せてくれます。

天橋立は、宮津市江尻から対岸の文珠まで、長さ3.6km、幅20m～170mを有し、丹後半島東側の河川から流出した土砂が、日本海から打ち寄せる波に運ばれ堆積した砂嘴(sand spit)で、大自然が創り出した珍しい現象として学術的にも貴重な砂浜です。

このような美しい天橋立も、他の海岸と同様に河川からの流出土砂が減少したことや、沿岸漂砂を遮断する構造物が砂の流れの上手側に設置されたことにより、漂砂が到達しなくなり、砂浜がやせ細ってしまい、天橋立の存在そのものが危ぶまれる状態になりました。そこで砂浜の流失防止策として昭和26年頃から多くの突堤が設置されましたが抜本的な解決に至らず、かえって「天の串刺し」と酷評されることになりました。

その後、いろいろな方法の模索が行われるなか、国内では先例のない方法ではありましたが、「サンドバイパス工法」の採用により、今ではようやくその効果が表れ、いくぶん昔の面影を取り戻してきました。このことは、わが国の「サンドバイパス工法」による海岸侵食対策技術の草分け的存在として、土木学会関西支部技術賞を受けるなどの荣誉に浴するものでした。しかし、海岸侵食は絶え間なく続いており、このまま放置すれば再び砂浜が失われてしまうこととなります。このため、京都府では、今後も「サンドバイパス工法」を継続し、天橋立の優雅で繊細な景観を後世の人々に伝えていきたいと考えています。

## ●天橋立における侵食対策の変遷



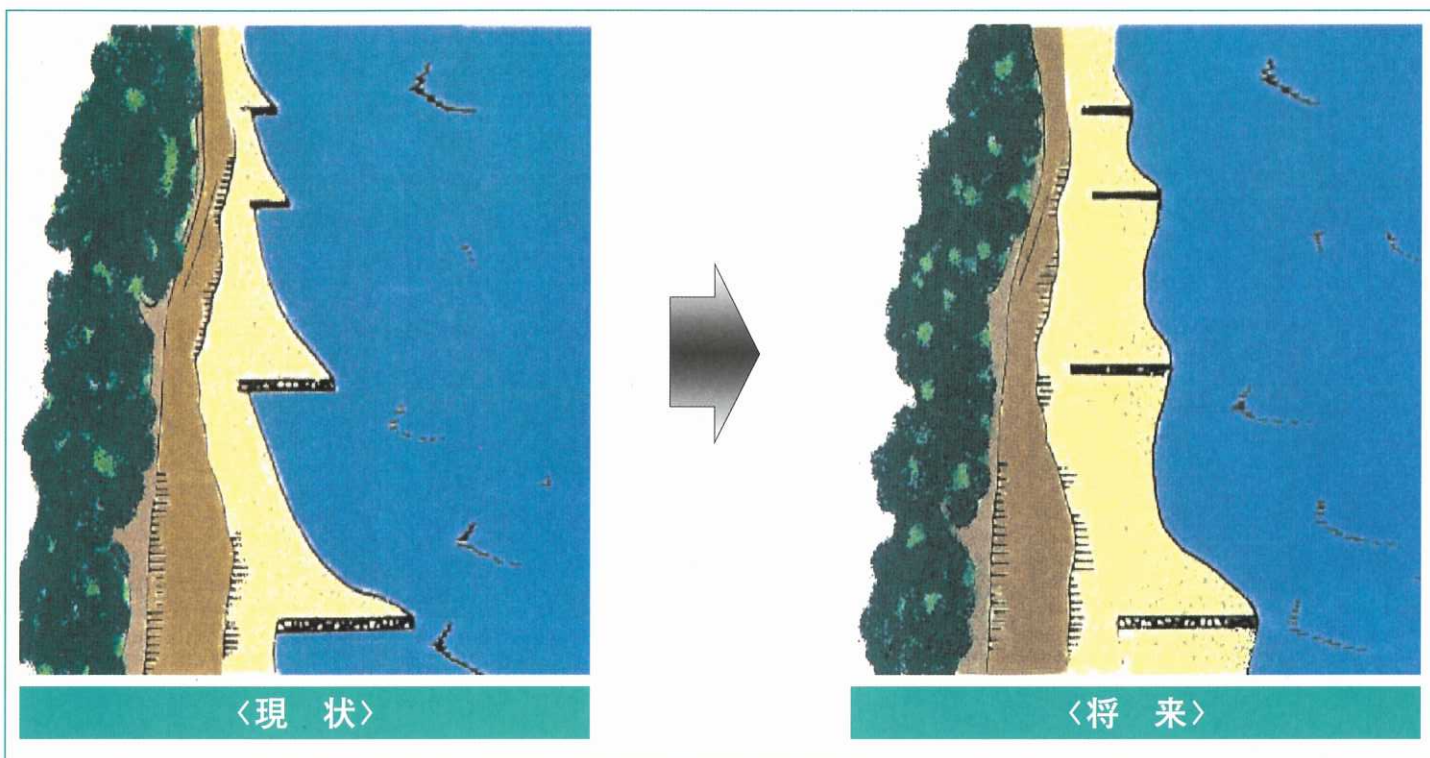
# 昔の天橋立は今のような姿だったの？

本来天橋立は、雪舟筆、国宝「天橋立図」に見られるとおり、砂浜が美しくなめらかな弧を描いた姿であったと考えられます。

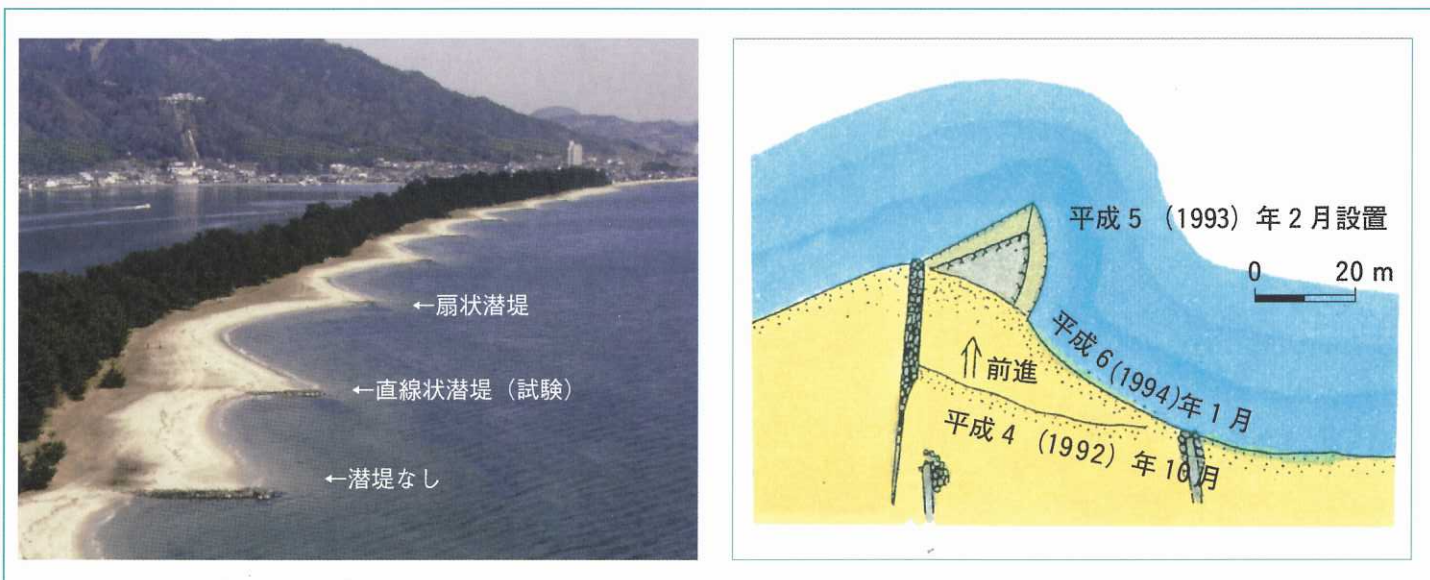
さて、現在の天橋立は「サンドバイパス工法」により、海岸侵食は防止され、ひとまず安定した状態にあります。しかし、砂浜から突き出した突堤により海岸線は不連続となり、その上手・下手で非対象な砂浜は、見る人にノコギリの歯のような印象を与えてしまいます。

このため、京都府では、突堤先端の水面下に扇状の「潜堤」を設けることにより、不自然な砂浜の姿を連続性のあるなめらかなものにする試みを行っています。

## ●海岸形状の改良イメージ



## ●扇形潜堤の効果



# 「サンドバイパス工法」って一体なに？



昭和60年(1985)ごろの天橋立

サンドバイパス工法は、砂浜に沿って流れてゆく砂（漂砂）が、人工構造物などに移動をさえぎられたために、その上手側に堆積したものを下手側の海岸に人工的に移動させる一種の養浜工であり、いわば、自然現象の代替方式として考え出されたものです。特に、天橋立のように景観美そのものも重要な保全目標となっている場合は、非常に有効で適切な工法と言えます。

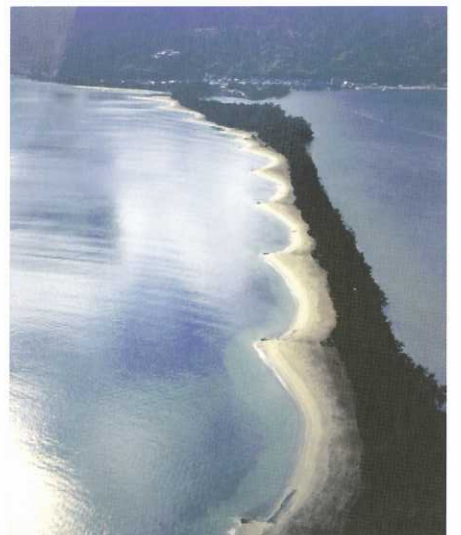
天橋立においては、昭和61年度よりサンドバイパス工法を実施しており、漂砂上手側にある日置及び江尻の両防波堤付近に堆積する砂を船で運搬し、天橋立の大天橋付け根に投入し、あとは波のエネルギーにより、天橋立全域に行き渡らせる方法をとっています。

また、近年では、サンドバイパス工法に使用する砂の有効利用を考え、漂砂の働きにより大天橋先端部に過剰に堆積した砂を、再び付け根に供給する手法（リサイクル砂）が実施されています。

## ●砂の投入

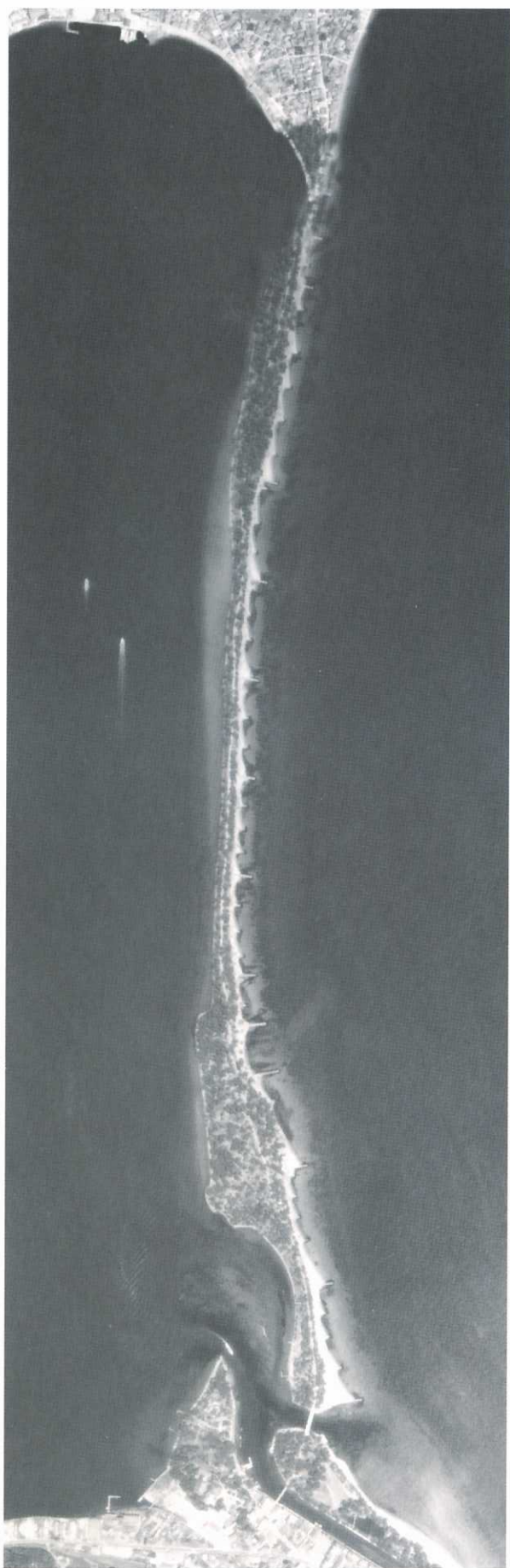


## ●天橋立全景



昭和50年 (1975)

サンドバイパス工法 実施前



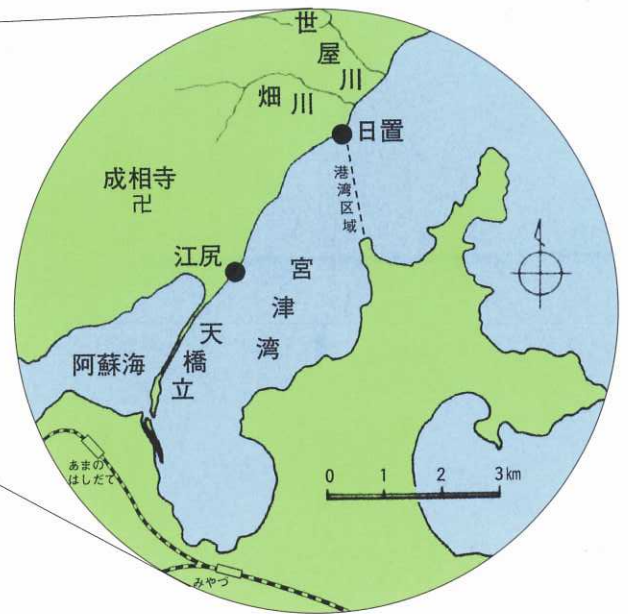
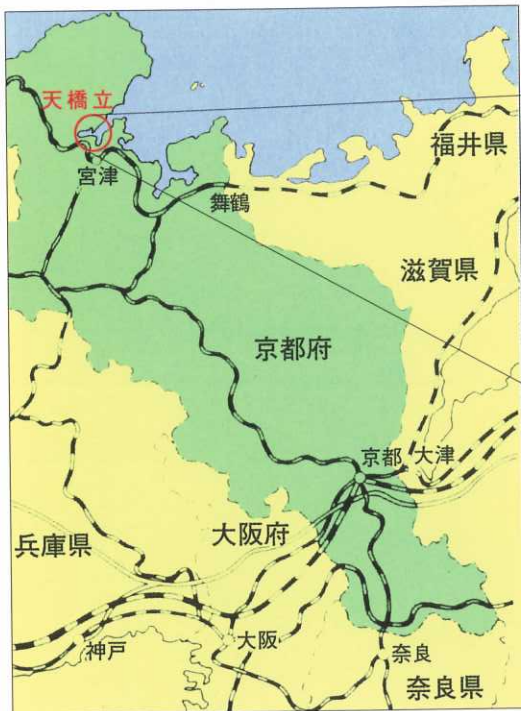
平成6年 (1994)

サンドバイパス工法 実施後



# 天橋立はどんなところ？

## ●天橋立の位置



## ●天橋立の由来



丹後風土記による天橋立の由来

## ●日本三景



寛永20年(1643)、日本全国を旅して歩いた林春斎が「日本国事跡考」を書き、その中で丹後の天橋立、陸奥の松島、安芸の宮島をあげ「日本三景」として紹介したのがはじまり。

## ●国宝「天橋立図」雪舟筆



雪舟が晩年に宮津で描いた大作。文亀・文永年間(1501~1504)に描かれたものとされている。



天橋立の雪景色

## 問い合わせ先



京都府土木建築部港湾課

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

☎ 075-451-8111 (代表)

99.03.2000